東海公衆衛生雑誌 投稿規定 2020

1. 論文形式の投稿について、査読を行った上で有料にて、東海公衆衛生雑誌に掲載します。
2. 投稿原稿の種類は、論壇、総説、原著、公衆衛生活動報告、資料等とします。分量は内容に関わらず、刷り上がりの状態で原則として 2 ページ以上、10 ページ以内とします。1 ページは概ね1,800 文字弱に相当します。図表は一枚600字(大きい図表は900字[1/2ページ相当]、または 1800 字[1 ページ相当]）とカウントします。ある地域・集団における調査の記述的な報告や、公衆衛生活動の実践的な報告を歓迎します。
3. 投稿する言語は、日本語とします。また日本語の要旨に加えて、英語の Abstract の掲載も可能です。ただし英語 Abstract の掲載を希望する方は、投稿前にご自身で英語を母国語とする方の校正を受けて、それを証明する書類を投稿時に提出してください。
4. 第１著者は東海公衆衛生学会会員とします。また、別に連絡責任著者がいる場合には、そちらも東海公衆衛生学会会員とします。
5. 他誌に発表された原稿（印刷中、投稿中も含む）の投稿は認めません。同じ年度の東海公衆衛生学会を含めて、学会発表との重複は差し支え有りません。
6. 投稿は、原稿を編集委員会にメールで送付してください。休日を除いて 3 日以内に原稿受領の返事が無い場合には編集委員会にお問い合わせください。3 月 15 日までに投稿された原稿について、その年の掲載についての査読等を行います。なお、一度投稿された原稿の差し替えには応じません。
7. 投稿原稿の執筆要領は、引用文献の書き方なども含めて日本公衆衛生雑誌に準じます。文献の記載様式は下記の例を参考にしてください。

   ①雑誌の場合：Suzuki S, Hosono A. No Association between HPV vaccine and reported post-vaccination symptoms in Japanese young women: Results of the Nagoya Study. Papillomavirus Res 2018; 5: 96-103.

   神谷真有美, 野田みや子, 石井英子, 鈴木貞夫. 妊婦に対する年齢を考慮したソーシャルサポートの検討. 岐阜保健短期大学紀要 2017; 6: 43-52.

   ②単行本の場合：Willett WC. Diet and nutrition. Schottenfeld D, Fraumeni JF Jr, eds, Cancer Epidemiology and Prevention, 3rd ed. NY: Oxford Univ Press. 2006; 405-421.

   鈴木貞夫. 第Ⅲ部ヘルニア診療・研究のトピックス　第１章 ヘルニア研究のための臨床疫学・統計学. 諏訪勝仁, 早川哲史, 嶋田元, 松原猛人, 編. ヘルニアの外科, 東京：南江堂, 2017; 432-440.

   ③インターネットのサイトの場合：第 64 回東海公衆衛生学会学術大会概要. 2018. http://plaza.umin.ac.jp/~tpha/cgi-bin/wiki3/wiki.cgi?action=PDF&page=64Abstract (2018 年 10 月 23 日アクセス可能)

   なお、刷り上がりの体裁での投稿も歓迎します。原稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお送り下さい。図表については、Microsoft Excel、Power Point ファイルでも結構です。
8. 投稿にあたってすべての著者は投稿時に、「東海公衆衛生雑誌 投稿時 COI 自己申告書」を提出し、申告書の内容を謝辞等に記載してください。COI 状態がない場合も，謝辞等に「開示すべき COI 状態はない。」などの文言を記載し、自己申告書を提出してください。

9. 本雑誌に投稿された原稿には、一重盲査読（著者は査読者が誰か分かりませんが、査読者は著者が誰か分かります）を行います。投稿にあたって、査読候補者 1～2 名を、所属、メールアドレスを付記して推薦してください。ただし、査読者の決定は最終的には編集委員会において行います。
10. 査読後、編集委員会は投稿原稿について修正を求めることがあります。修正を求められた原稿は指定された期限までに再投稿してください。その際には、指摘された事項に対応する回答を別に付記してください。
11. 原稿の採否は，編集委員会が決定します。採択にあたっては、掲載用にレイアウトした原稿の提出が必須となります。採択後の内容修正は認めません。最終原稿は Microsoft Word ファイル、PDF ファイルの両方をお送りください。編集委員会ではページ番号を修正した上で、原則としてそのままの状態で印刷します。なお、白黒印刷のみとし、カラー印刷はできません。
12. 投稿料は不要ですが、掲載料は刷り上がり 1 ページ当たり 1 万円とします。ただし、1 月 15 日までに投稿された原稿に限り、掲載料を 30%割引します。採択通知の後、指定された期限までに払い込みをしてください。
13. 受理された論文は本学会ホームページのほか、J-STAGE、メディカルオンラインで公開されます。また、雑誌は医学中央雑誌、国立国会図書館等に送付します。
14. 論文の別刷りは編集委員会では作成しません。必要な場合は、ホームページ掲載の PDF ファイルから著者が作成してください。
15. 掲載論文の著作権は東海公衆衛生学会に帰属します。著作権委譲承諾書を提出していただきます。

＜東海公衆衛生雑誌編集委員会＞
2020 年発行担当
編集委員長：岐阜大学大学院医学系研究科疫学・予防医学分野　准教授 和田恵子
編集委員　：名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野　教授 鈴木貞夫
編集委員　：至学館大学健康科学部栄養科学科　教授 今枝奈保美
編集委員　：藤田医科大学医学部公衆衛生学講座　准教授 太田充彦
編集委員　：浜松医科大学健康社会医学講座　助教 柴田陽介
編集委員　：名古屋市保健所 熱田保健センター　所長 細野晃弘

投稿・問合せ先：東海公衆衛生学会事務局：渡邉
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学教室内
E-mail：tokai-ph@med.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-744-2132 Fax: 052-744-2971